



BFH(Baby Friendly Hospital)～ 母乳育児成功のための10カ条～

当センターは、2000年8月にBFH(Baby Friendly Hospital)として、日本で17番目に認定され、都内では初の認定病院となりました。母乳育児を頑張りたいお母さんたちのサポーターとして、病院一丸となって活動しています。

1、BFH(Baby Friendly Hospital)って何？

1989年にWHO(世界保健機関)とユニセフが「母乳育児成功のための10カ条」を共同提唱しました。その後、1991年にこの10カ条を実践している施設を「Baby Friendly Hospital：赤ちゃんにやさしい病院」として、認定する運動が始まりました。

右の写真はBFH認定証です。当院では、1階周産母子センター入口のエレベーターホールに掲示してあります。



母乳育児成功のための10カ条は、お母さんと赤ちゃんに関わる全てのスタッフが守る基本方針です。たとえ、母乳育児が難しい場合でも、お母さんと赤ちゃんにとって良い方法を一緒に考えてまいります。

2、母乳育児成功のための10カ条と当院での実践

① 母乳育児の方針をすべての医療に関わっている人に、常に知らせること。

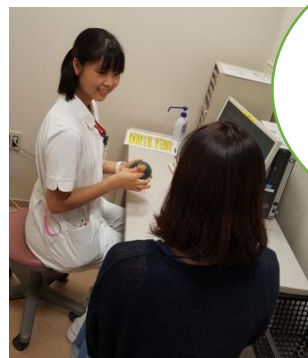
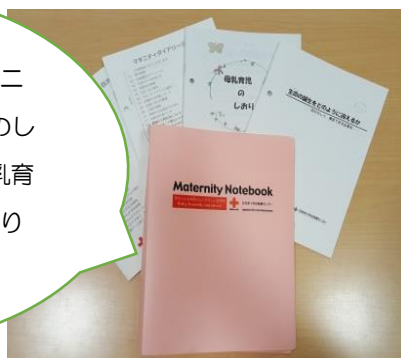
多職種が集まるワークショップの開催、職員向けの情報発信に努めています。お母さんたちのお問い合わせに全スタッフがお答えできるようにしています。

② すべての医療従事者に母乳育児をするために必要な知識と技術を教えること

統一したケアを提供できるように、定期的にスタッフ向けの勉強会を開催しています。

③ 全ての妊婦に母乳育児の良い点とその方法をよく知らせること。

妊娠初期にお渡しするマタニティーノートに「母乳育児のしおり」が入っています。母乳育児について詳しく書いてありますのでご覧ください。



妊婦健診では11週頃34週頃に助産師からおっぱいチェックがあります。

④ 母親が分娩後 30 分以内に母乳を飲ませられるように援助すること。

当院では母子ともに問題がなければ、出産後すぐ早期皮膚接触を行っています。

帝王切開でも、問題が無ければ実施できます。
早産の場合は、新生児科医師の立会いのもと、
できるだけ実施しています。



初めての
おっぱい♡

⑤ 母親に授乳の指導を十分にし、もし赤ちゃんから離れることがあっても母乳の分泌を維持する方法を教えること。

赤ちゃんが入院になり、母子分離となった場合も母乳育児が継続できるよう支援します。



おっぱいの変化や形、
生活スタイルに合った
搾乳方法を一緒に探し
ていきます。

⑥ 医学的な必要がないのに母乳以外の物、水分、糖水、人工乳を与えないこと。

⑦ 赤ちゃんが一日中一緒にいられるようにすること。

母乳同室の様子です。
赤ちゃんがほしい時にす
ぐ授乳ができます



⑧ 赤ちゃんが欲しがるときに、いつでも母乳を飲ませるようにすること。

1日に10回以上の授乳がおすすめ。欲しがるサインも徐々に分かるようになります。

⑨ 母乳を飲んでいる赤ちゃんにゴムの乳首やおしゃぶりを与えないこと。

赤ちゃんをあやすために抱っこや話しかけたりなど赤ちゃんとのコミュニケーションが大切になってきます。

⑩ 母乳育児のための支援グループをつくり、援助し、退院する母親に、このようなグループを紹介すること。

育児について話すクラス・サークルを1カ月に1回、院内で開催しています。詳しくは周産期母子センターエレベーター入り口のお知らせをご覧ください。

☆育児クラス：1カ月健診終了後～生後4ヶ月くらい。医師に質問できます。

☆育児サークル：生後2ヶ月～1歳まで。無料で毎月1回参加でき、お母さん主体で運営されています。